

総務拡大委員会

委員長 坂元 謙一郎

副委員長 堀之内 航

委員 小路 明洋・修行 信勝・原口 丈太郎

三角 景志・和田 直哉

【サマリー】

一般社団法人都城青年会議所 2021年度 組織運営グループ	
総務拡大委員会	
委員長 坂元 謙一郎	
設置背景	①都城青年会議所は、『修練』『奉仕』『友情』会員一人ひとりが一年で最初に会する場において日頃より我々の運動に対し、第58代理事長上村一のもと新たな一歩を踏み出すことのできる総会を開催する必要がある。
	②都城青年会議所は58年目を迎えるにあたり会員が減少しており、5年前には72名会員がいたが、今年は50名前後でのスタートであり、委員会数が少なく、実施できる事業も少なくなる為、拡大が必要である。
	③今年48回目を迎える「盆地まつり」は都城青年会議所発端の都城圏域を代表するイベントである。今現在も都城青年会議所は共催団体であることから、現役の都城青年会議所メンバーには「盆地まつり」により積極的に関わることでより都城圏域に必要不可欠な祭りであることを知ってもらう必要がある。
設置目的	①2021年度の都城青年会議所の船出と第58代理事長上村一理事長が掲げるスローガン「ひとのため、まちのために」のもと各事業の方向性をメンバー一人ひとりに把握していただき一丸となって2021年度の事業に取り組んで頂くことを目的とします。
	②自己成長する学び舎として互いに切磋琢磨する為には多くの仲間が必要です。その為に拡大は組織の根幹に関わる重要な課題と言えます。また、地域や仲間から信頼され必要とされる心豊かで頼もしいリーダーを育成し、また対内外に青年会議所運動を知ってもらう交流の機会を創出し、全会員の意識を変えることを目的とします。
	③「盆地まつり」は諸先輩方が築き上げてきた歴史ある事業です。都城青年会議所は共催団体として、歴史や事業内容を学ぶと共に理解を深め「ひとのため、まちのために」となる地域貢献活動をメンバー一丸となって取り組むことを目的とします。
活動概要	①1月定時総会の運営の実施
	②5月例会の実施
	③8月例会の運営の実施
KGI (目標達成指標)	①2021年度の活動をメンバーに100%理解して頂く
	②2023年までに会員100名
	③盆地まつりに継続的に都城青年会議所の全メンバーが参加する
KSF (KGI達成のポイント・プロセス)	①青年会議所メンバーと来賓へ、2021年度事業を判りやすく紹介する
	②拡大セミナーを開き拡大の知識をメンバーに知ってもらう。
	③セミナーを開きメンバーに盆地まつりへの参加について促す。
KPI (KGI達成のための中間指標)	①総会100%出席
	②仮入会者60名
	③盆地まつりへのメンバー参加率100%
SDGs	8、働きがいも経済成長も 11、住み続けられるまちづくりを 17、パートナーシップで目標を達成しよう

政策手法	① 1月定時総会の実施 ＜理由＞2021年度の事業概要及び上村一理事長が掲げるスローガン「ひとのため、まちのために」を周知する為。 ＜手法＞厳格なる式典を設え、都城を代表する団体の代表を来賓としてお迎えし2021年度の都城青年会議所の運動を紹介し、共に船出を見届けて頂く。 ＜行動＞都城青年会議所メンバーとして2021年度の運動を深く理解し、都城圏域に必要とされる組織となる。
	② 5月拡大例会の実施 ＜理由＞会員が減少している中、メンバー全員が拡大する意義を理解し、学び舎として切磋琢磨していくメンバーを増やす必要がある為。 ＜手法＞メンバーの意識醸成の為の例会を実施し、他団体メンバーとの交流を通じて都城青年会議所の運動を理解して頂く。 ＜行動＞メンバーの意識が変革され、切磋琢磨できる学び舎として成長を遂げます。
	③ 8月例会の実施 ＜理由＞現都城青年会議所メンバーに「盆地まつり」の歴史を深く理解して頂き、共催団体としての意識を変革する為。 ＜手法＞メンバーの意識醸成の為の例会を実施し、共催団体として「盆地まつり」への関わりを深め、積極的に参加して頂く。 ＜行動＞メンバー自身が地域貢献活動を行う事により、地域に必要とされることの喜びを享受する。
パートナー	日本JCシニア・クラブ
	盆地まつり実行委員会

【職務分掌】

1. 1月定時総会の実施
2. 5月例会の実施
3. 8月例会の実施
4. 北蔚山青年会議所との交流窓口
5. 基本資料、総会資料の作成
6. 法人手続き、資産、備品管理
7. 定款・諸規程の運用、把握、変更
8. ホームページ、及び各メディアを活用した広報活動とグループウェアの管理、運営
9. 例会における出席率発表
10. 例会、事業及び各種大会での出席状況把握
11. 新入会員予定者の事前審査、及びオリエンテーションの実施
12. 全国大会「宇都宮」への参加企画
13. 日本JC協働運動・連携推進運動事業の窓口
14. 名義後援の受付、理事会への上程
15. 日本本会・九州地区協議会・宮崎ブロック協議会、及び出向者への協力支援
16. 共催事業への協力支援
17. 会員拡大〔最重要〕